平成24年5月8日

各 位

上場会社名　日本電計株式会社
代表者　代表取締役社長 武蔵　信義
(コード番号　9908)
問合せ先責任者　代表取締役専務 佐藤　信介
(TEL　03-3251-5731)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年2月13日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	65,000	1,330	1,260	1,180
今回修正予想(B)	67,973	1,688	1,684	1,393
増減額(B-A)	2,973	358	424	213
増減率(%)	4.6	27.0	33.7	18.1
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	64,805	1,199	1,129	795

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	63,200	1,000	810
今回修正予想(B)	65,025	1,411	1,141
増減額(B-A)	1,825	411	331
増減率(%)	2.9	41.1	41.0
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	62,612	876	688

修正の理由

1．連結業績

当第67期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの寸断、電力供給不足による生産調整、秋の大雨、タイの洪水などにより企業の生産活動に内外で様々な障害が発生し、回復基調にあった景気に水をさす結果となりました。また、第3四半期までは欧州における債務問題の顕在化による歴史的な円高が続き、第4四半期には一転して円安傾向となりましたが、輸出産業を中心に依然として、景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。
一方、当社グループが属する電子計測器、電源機器、環境試験機器等の業界におきましては、環境･エネルギー関連市場では、太陽光発電、ＬＥＤや蓄電装置等の分野では積極的な研究開発が進められておりますが、主要ユーザーである電機･自動車業界は円高の影響や新興国の低価格製品に押され、概して業績が低迷した他、海外での生産強化が顕著となり、消費の動向を見極めた慎重な設備投資姿勢が見られました。
このような状況のもと、当社グループは、国内･海外の幅広い営業拠点網を活用して、環境･エネルギー関連市場を中心に積極的なソリューション営業活動を展開いたしました。東アジアでは、やや景気に翳りが出てきたとは言え、引き続き好調な景気を背景として、特に中国の販売子会社である電計貿易（上海）有限公司を中心に、海外子会社の業績も順調に推移いたしました。
また、第4四半期になって円安に傾いたことで、評価分も含めた為替の差損が大幅に圧縮されました。
以上の結果、当連結累計期間の連結売上高は679億7千3百万円（前年同期比4.9%増）となりました。損益面では、粗利益率が0.18%程度改善したことに加え、引き続き取り組んでおります経費削減効果により、連結営業利益は16億8千8百万円（前年同期比40.8%増）となりました。連結では、為替差損益の影響がほとんどなかったことから、連結経常利益は16億8千4百万円（前年同期比49.1%増）となりました。繰延税金資産を2億4千4百万円計上したこともあり、連結当期純利益は、13億9千3百万円（前年同期比75.2%増）となりました。

2．個別業績

連結業績予想の修正理由と同様であります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年2月13日発表)	―	―	―	15.00	22.00
今回修正予想	―	―	―	20.00	27.00
当期実績	―	7.00	―		
前期実績 (平成23年3月期)	―	7.00	―	15.00	22.00

修正の理由

当社は利益配分につきましては、業績･財務状況を総合的に勘案し、継続かつ安定的な配当を行なうことを基本方針としております。

当期は、業績が好調で当初計画を上回る利益を確保できましたので、株主への利益還元を図る観点から、期末の配当は、当初予想の15円から5円増配し20円とし、通期では27円配当を行なう予定であります。

今後とも、業績向上による利益確保に努め、計画した利益が確保できることが明らかになり次第、株主の皆様への利益還元に積極的に取り組んでまいる所存であります。

以 上